

(RC、2020 JAN 23)

会長挨拶

新型コロナウイルスによる肺炎について

副会長 牟田和男

昨年末から、中国の揚子江流域の都市・武漢で新型コロナウイルスによる肺炎が発生し、拡大しています。2002年のSARS（中国・広州、香港、台湾・高雄）、2012年のMERS（中東）と同様、コロナウイルスの変異による肺炎です。元来、形態が太陽に似ていることから名付けられたコロナウイルスは、風邪の病原体のひとつであり（約、40%）、初期症状は発熱、咳嗽等の呼吸器系の症状です。

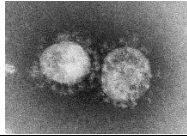
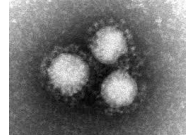
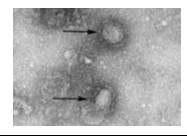
今回の変異した新型コロナウイルスによる初期症状も一般的な風邪症状と同じであり、鑑別は困難です。そして、免疫力がないために症状が急速に悪化して肺炎まで進行する危険性が高いと言われています。SARSとMERSと同様、感染源は現地の動物、人から人へ感染するようです。

現在、急速な感染拡大を防ぐため、初発地の武漢では人々の移動制限、米国等では中国からの渡航者や航空機の入国制限が始まっています。福岡も武漢からの直行便が飛来してきていますので他人事ではありません。又、福岡はパンデミックに対する体制が不十分なことも気がかりです。

有効な治療がないので、不用不急の外出を控え、マスク、手洗い、うがい等の一般的な風邪予防対策を励行することが肝要です。

	時期	死亡/感染	致死率
SARS(重症急性呼吸器症候群)	2002~2003年	774人/8,098人	9.6%
MERS(中東呼吸器症候群)	2012~昨年11月	858人/2,494人	34.4%
新型コロナウイルス	昨年12月~	17人/531人	3.1%

(厚労省資料などにより)

		潜伏期間	症状	感染源(中間動物)
SARS		2~10日	1段階 発熱・悪寒・筋肉痛など 2段階 呼吸困難や水様性下痢など	ハクビシン?
MERS		2~14日	発熱・せき・息切れ・呼吸困難など	ヒトコブラクダ
新型コロナ ウイルス		平均7日 最大12日 (国営中央テレビ で当局が発言)	発熱・全身倦怠感・乾いたせきなど	タケネズミ やアナグマか? (中国保健当局より)